

【令和3年度障害児者医療研修事業 実績】

	講演・研修の内容	開催日時	対象者	講師（実習等講師）	開催場所	募集人数
発達障害診療研修	地域で発達障害児者に関する医療従事者に対して、発達障害へのアプローチや援助の方法を提供し、実践に繋げ人材育成を図る。 講義「発達障害とトラウマ ～理解してつながることから始まる支援～」	7月25日(日) 13:30～16:30	精神科医、小児科医、内科医師等 看護師等 コメディカル 保健、福祉、教育等の領域の支援者	総合センター中央病院 小児心療科医長 小野 真樹	ウイנקあいち 大会議室	50人
精神保健技術研修 「発達障害地域包括支援研修」	国の「かかりつけ医等発達障害対応力向上研修事業」の一環として実施。 発達障害児等のかかりつけ医がどの地域においても一定水準の発達障害の診療、対応を可能とすることを目的とする。 講義 国立精神・神経医療研究センターの指導者研修「発達障害地域包括支援研修」の伝達研修	①11月1日(月)～ 12月15日(水) ②令和4年 1月17日(火)～ 2月7日(火)	小児科医、精神科医、内科医等 医師、保健師、看護師、精神保健福祉士、作業療法士、言語聴覚士、理学療法士	総合センター中央病院 児童精神科部長 あいち発達障害者支援センター 副センター長 吉川 徹 総合センター中央病院 医師 高里 文香	YouTube配信	50人
感覚統合療法講演会	発達障害のリハビリ、特に感覚統合的な視点からのアプローチの方法を学び、地域で実践できる人材の育成を図る。 講義 ①「感覚統合 初級編」 ②「感覚統合 中級編」	①8月7日(土) 13:30～16:30 ②10月2日(土) 13:30～16:30	県内の障害児通園施設・保育所・幼稚園・小学校・特別支援学校の関係者・作業療法士・理学療法士・言語聴覚士	総合センター中央病院 作業療法士 小松 則登 総合センター中央病院 作業療法士 渡邊未美 総合センター中央病院 作業療法士 松田 祥子	ウイノあいち 大会議室	80人
遺伝療育講演会	医療・療育・教育現場の支援者が、個々の疾患特性や行動特性に合わせた支援方法について理解を深める。 講義1「遺伝療育講演会10年と寄せられた質問を振り返って」 2「染色体・遺伝性疾患があるお父さんに対する作業療法 ～支援の実践について～2021」 3「信大病院遺伝子医療研究センターにおける遺伝学的検査を基盤とした知的障害診療について」	11月6日(土) 13:30～16:30	障害児者の在宅医療にかかわる医師、看護師、リハビリスタッフ、教員、療育福祉関係者など	総合センター中央病院 副院長 水野 誠司 総合センター中央病院 作業療法士 小松 則登 信州大学医学部附属病院 遺伝子医療研究センター 高野 亨子	ウイノあいち 大会議室	50人
重症心身障害児者医療療育推進講演会	重症心身障害児者が地域で安心して生活できるよう、支援者として必要な知識、情報を提供し、在宅生活・在宅支援の充実を図る。 講演「重症心身障害児者・医療的ケア児者支援ネットワークについて県内各地の取り組み」	7月10日(土) 13:30～15:00	重症心身障害児者医療に関わる関係施設職員、教育、療育、福祉関係者等	総合センター中央病院 副院長 三浦清邦 座長 信愛医療療育センター センター長 麻生幸三郎	ウイノあいち 大会議室	50人
第9回あいち小児在宅医療研究会 名古屋大学寄附講座	名古屋大学障害児(者)寄附講座との共催 県内の小児期発生の発達障害のある児(者)の在宅医療体制の拡充を図るため、小児在宅医療の関係者が一同に会す「あいち小児在宅医療研究会」を実施することにより、相互に理解を深め小児在宅医療の推進に寄与することを目的とする。 ○テーマ「小児在宅を支えるリハビリテーション」 ○基調講演「小児リハビリテーションの過去、現在、未来」 ○シンポジウム「急性期から生活期へ シームレスなリハビリテーション支援を目指して」 ①在宅医療に繋げるNICUでのリハビリテーション ②早期集団療育の取り組み ③地域医療における言語聴覚士の役割 ④訪問看護師とリハビリテーション専門職の連携について	12月19日(日) 13:00～16:30	県内の病院小児科・新生児科・救急担当科等の勤務医、小児在宅医療に関心のある診療所医師、看護師(総合病院関係診療科、訪問看護ステーション、特別支援学校、福祉施設、介護事業所等に勤務する看護師)、理学・作業療法士、教員、研究者、療育福祉関係者など	基調講演 国立長寿医療研究センター 副院長 近藤 和泉 シンポジウム ①名古屋大学医学部附属病院 医療技術部リハビリテーション部門 主任 作業療法士 西川 貴久子 ②株式会社ジェネラス 取締役 理学療法士 金子 満寛 ③終訪問看護ステーション 言語療法士 堀田 眞弥 ④訪問看護ステーション豆大ふく 看護師 西山 亜紀	医師会館	130人
重症心身障害児者関係施設等支援者研修「日常ケアコース」	重症心身障害児者の支援に関わる関係者が重症心身障害児者の日常ケアを考える機会とし、地域で生活する重症心身障害児者に安全、安心な支援ができるよう知識・技術の向上を支援する。 講義「体のしくみを学んで腰痛をよぼうしよう」 「安心・安全な移乗を一緒に考えよう」 「紙オムツ使用者の予防的スキニング」	10月16日(土) 13:45～17:00	重症心身障害児者医療支援に関わる関係施設職員、教育(特別支援学校教諭等)、療育、福祉関係者など	総合センター中央病院 整形外科医師 門野 泉 総合センター中央病院 重症心身障害者看護師 堀田 邦子 総合センター中央病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 木村 智晴	総合センター	30人
重症心身障害児者の呼吸ケア研修	重症心身障害児者の医療を行う上で、呼吸ケアの知識・技術が必要となるため、呼吸障害の病態生理とそれらに対する治療法や対処法を学ぶことで、理解を深めスキルアップを図る。 講義「呼吸障害の病態と内科的管理法 ～長期的視点と医療機器の役割～」 「呼吸の原点としての口腔管理と口腔ケア ～口腔病態と口腔ケアのポイント～」 「呼吸障害に対する外科治療 ～気管切開術、気管喉頭分離術とその注意点～」 「生活の質をあげる呼吸理学療法 ～本人・介助者が共に楽になる支援方法のヒント～」	令和4年 2月27日(日) 9:00～12:30	障害児者医療・在宅医療に関わる医師、看護師、訓練士	総合センター中央病院 小児神経科医師 山田 桂太郎 総合センター中央病院 歯科医師 加藤 篤 総合センター中央病院 小児外科医師 田中 修一 総合センター中央病院 理学療法士 栗林 健	総合センター	30人